

OASIS の風

-hear your heart-

ナーシングホーム OASIS 天白野並



R4年4月号

入居者様の声

R・T 様：50代女性：多系統萎縮症

ナーシングホーム OASIS 天白野並入居中：miyasuku の導入スタート

R様は発声が難しく、現在は文字盤や手での簡単なジェスチャー（OKサイン等）にてコミュニケーションをとっておられます。

遠方在住のお兄様と連絡を取ることを目標に**重度意思伝達装置（miyasuku）**導入開始となりました。視線入力・スイッチ 2つの操作方法をトライしましたが視線入力はなかなか難しく、スイッチにて操作されています。

導入したばかりの中、ご自身のお名前を2時間かけて入力してくださいました。

お兄様とLINEを通じてやり取りしたいという目標に向けて根気よく操作訓練されています。

第3回WEB交流会には御両親と一緒に参加し、途中ベッドに戻りながらも最後までクイズに答えられ博識を披露。大学時代京都にいらっしゃったことがわかりました。

参加していかがでしたか？と伺うと「たのしかった」と教えてくださいました。



お肌がとても綺麗で印象的なR様。

急性期の大学病院のドクターの記憶に残るお肌の綺麗さとか…

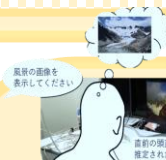


スタッフの声

N・Tさん：訪問介護士：ケアコール野並：4カ月

私はナーシングホーム OASIS 天白野並のオープン時に介護職員として入社しました。関わる利用者様は様々な疾患の方が見える為、まだまだ業務に慣れる為に日々学ばせていただいております。現在、OASIS 天白野並の入居者様で、コミュニケーション支援が必要な方は1名です。スイッチの操作ができる時とできない時とがあり、どの様にしたら良いのか悩みながら支援に携わっています。

そして、天白野並のコミュニケーション支援メンバーとして選任されました。利用者様のできない事が増えていく経過の中でも、できる事を見つけて対応できるようにしていきたいと思っております。頑張ります！



トピックス

頭の中でイメージした映像を表示する技術

R3年12月号のトピックスにてBCI研究協力についてご紹介いたしました。今年3月に大阪大学が「脳情報解読技術」の開発に成功したと発表しました。これは、人が想像した画像を画面に表示する実験に成功したというものです。「意思伝達を行う新しいコミュニケーションツールへの応用が期待される」とコメントが発表されています。

現在はまだてんかん治療などで頭蓋骨内に電極を埋め込んでいる方が対象ですが、手術などせずともこの技術を利用できる様な未来に期待したいです。

